

東急車輛製造株式会社 殿

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

主要諸元比較表 (改造、試作、組立)

項目	東急車輛製造株式会社			項目	普通貨物		
	標準車	改造車	基準		標準車	改造車	基準
車両重量 kg		10820	—	車名	東急	—	
乗車定員 人		—	—	型式	TD251-90	—	
最大積載量 kg		25000	—	形状	セミトレーラ	—	
車両総重量 kg		35820	≤20	原動機の型式	—	—	
長さ m		11.990	≤12	総排気量 l	—	—	
幅 m		2.990	≤2.5	燃料の種類	—	—	
高さ m		1.680	≤3.8	軸距 m	9.350+1.300 =10.650	—	
室内又は 荷台の寸法		長さ 6.100 幅 2.990 高さ —	—	最小軸距半径 m	*12.0	≤12	
空車時 荷重分布		前 3660 後前 3580 後後 3580	—	オーバーハング リブ後端まで 両台オフセット m	0.890 4.500	≤4.4 (5.325)	
積車時 荷重分布		前 14910 後前 10455 後後 10455	≤10 ()	タイヤ サイズ	—	—	
積載時前 荷重割合 %		—	≥18 20	最大安定 傾斜角度	* 55	一般 ≥13 (30)	
軸距 m		前後 2.300 後後 2.300	—	車わく強度	$\sigma_s / \sigma = 4100 / 679.0 \times 2.5 = 2.6 > 1.6$	—	
制動力 空気圧		踏力 kg 空気圧 kg/cm ²	—	車輪強度	東急 TL2555 型セミトレーラと同一	—	
推進 機 度		$\sigma_h / r = / =$	—	懸架装置	東急 TL2555 型セミトレーラと同一	—	
			—	制動装置	東急 TL2555 型セミトレーラと同一	—	
			—	連結装置	東急 TL2555 型セミトレーラと同一	—	

注1. 主要諸元比較表右欄()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。
 注2. 制動力等検討時に必要としないものは—、省略したものは×を記入すること。
 注3. *印は三発 W-FV415JR 型1ラックと連結時の計算値を示す。

番号 YV-3904611

改造概要説明書

目的	重量物品の安全輸送をはかるため中低床式セミトレーラとして新に製作されるものである
車体	車両全長は 11.990m, 全幅は 2.990m, 全高は 1.680m, とする
軸距	重量配分の適正化を計るため第5輪から 9.350m+ 1.300m=10.650mとする
輪距	2.300mとする
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TL2555 型セミトレーラと同一(49自動車第 645号新型自動車第 10999号)車輪は高張力鋼の中実丸型断面でスピンドルと一体構造を有しタイヤサイズは 11/70R22.5-14PR を使用する。
操縦装置	
制動装置	東急TL2555 型セミトレーラと同一(49自動車第 645号新型自動車第 10999号)(主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式
懸架装置	東急TL2555 型セミトレーラと同一(49自動車第 645号新型自動車第 10999号)ウォーキングビーム方式(トラニオン軸を中心にして上下に揺動する構造である)
連結装置	東急TL2555 型セミトレーラと同一(49自動車第 645号新型自動車第 10999号)第5輪方式
車わく	全体の構造は格子型で主レールとアウトリガおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを後部に車軸装置を取付けている
その他	

